

2018-03-13(火)

## 眠っていた物を使い始める

持っているのに使っていない、いくつかの物が“使えない”物なのかどうか確かめようと思って、使ってみた。

新宿の美容室に髪を切りに行った帰りに、フランフランとニトリに寄った。探していたA4のトレイは気に入った物がなかったけど、ニトリでセラミックの大きめコースター1つとコルクのコースターを2つ買った。お菓子のおまけや、レストランでもらった紙のコースターが、コーヒーで染みだらけになっていたのを思い出して衝動買いした。

買ったコースターをおろしながら、そう言えば、和風のフリーカップ用に、眠ってる茶托が使えないかなあと思った。それは結婚祝いにもらった鎌倉彫の茶托で、食器棚の奥から引っ張り出して、フリーカップや湯飲み、お客さん用の和風カップを乗せてみたら、どれにでも大きさは合うとわかってうれしくなった。5枚セットだけど2枚をコルクのコースターと一緒にすぐ取れる場所に置いた。

長らくミディアムヘアにしている、働きに出ている頃はカチューシャやカチュームをよく使っていた。眼鏡に固いカチューシャだと耳の後ろが気になるのでコンタクトをあまりしなくなったのと、年齢的なものでカチューシャは使わなくなった。髪を切ってせっかく綺麗にセットしてもらったのに、邪魔だからといきなり髪を結んだらもったいない。ゴムのカチュームなら、眼鏡でも耳の後ろもさほど気にならないで使えるかも、と思って使ってみた。

使っていない物は不要品予備軍。しまい方が悪いと、知らない間に劣化して使えなくなるかもしれない。それよりはさっさと不要品認定して、人に上げたり売ったりした方がマシだ。でも特別なもらい物、劣化しやすい中古品など、人に上げたり売ったりし難い物は、眠らせないで少しでも早く使ってみるのが良いかも。



左:湯飲みと鎌倉彫の茶托 / 右:カチューム

著者:minima

アラフォー女子。グリーンコンシューマー東京ネット  
会員。この連載をまとめた電子書籍  
「[エコな買物がしたい](#)」がアマゾンにて販売中。